

■総務委員会

●一般会計補正予算（第4号） — 家庭内家具等固定推進事業 —

Q 総合計画では、平成27年度までに家具を固定している家庭の割合を67.1%（約2万世帯）とすることを目標としているが、現在のペースで達成できると考えているのか。

A 昨年度までに1,862世帯で実施していただいた。今年度は、約1,800世帯での実施を想定している。1月から新制度がスタートするため、さらに実施率を高めるよう努力したい。

— 河川水位計等整備事業 —

Q 浸水や道路の状況を、いち早く住民に知らせるために、浸水センサー2基、警報器とパトライト4基を設置するとのことであるが、設置箇所を村松と諸井に選定した理由は何か。

A 村松地区については、一番早く浸水する恐れのある箇所にセンサーを設置し、警報器等も被害が予想される住宅地付近に設置するものである。諸井地区については、平成16年度に浸水被害があったことを考慮して設置することとした。



現在設置されている河川水位計

■民生文教委員会

●訪問看護事業特別会計補正予算（第1号）

Q 今年9月で市が運営していた袋井市訪問看護ステーションが廃止となり、すべて民間のサービスに移ったが、現状はどうか。

A 袋井市訪問看護ステーションの利用者は、多いときで55人程度だった。12月1日現在の民間サービス利用者数は、看護ステーション袋井が46人。トータルケアひかりが30人。計76人で20人近く増えている。

●指定地域密着型サービスに関する条例の制定

Q 高齢者対策として、今後は、地域密着型サービスが重視される方向であると考えているが、今後の本市における考え方・方針はどうか。

A 平成24年度から26年度までの計画で、小規模多機能型を1カ所、特別養護老人ホームを1カ所整備するとともに、在宅で安心して生活できるようなサービスの充実も図っていく。今後の方向としては、介護保険料等も勘案しながら、必要なものから整備していきたい。



民間による訪問看護ステーション